

全国学力・学習状況調査の結果概要

- 調査実施日 令和5年4月18日(火)(中学校英語「話すこと」調査 5月15日(月))
- 対象学年 ○奈井江小学校 第6学年 19名 ○奈井江中学校 第3学年 27名
- 教科 ○小学校 ⇒ 国語・算数 ○中学校 ⇒ 国語・数学・英語

■教科に関する調査結果

○奈井江小学校

全道平均比較	国語	算数
高い	「読むこと」	「変化と関係」
同じくらい	「言葉の特徴や使い方」	「数と計算」「図形」
下回る	「情報の扱い方」	「データの活用」
大きく下回る	「書くこと」 「話すこと・聞くこと」	—

◇調査結果から見える傾向

◆国語

文章の種類や特徴についての理解や目的に応じて文章や図表などを結び付けることなど「読む力」は得意です。図表やグラフを用いて、自分の考えを書き表すことが苦手です。

◆算数

算数全般において理解されており、「比例」「計算」「図形」などの設問は得意です。表やグラフ、データから必要な情報を読み取らなければならない設問が苦手です。

○奈井江中学校

全道平均比較	国語	数学	英語
高い	—	—	—
同じくらい	「情報の扱い方」	—	「話すこと」
下回る	「話すこと・聞くこと」 「言葉の情報や使い方」 「我が国の言語文化」	「数と計算」	「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」
大きく下回る	「書くこと」「読むこと」	「図形」「データの活用」 「関数」	—

◇調査結果から見える傾向

◆国語

「事象や行為、心情を表す語句への理解」は得意ですが、「書く」「読む」が全般的に苦手です。

◆数学

「問題場面における考察の対象を明確に伝えること」は得意ですが、それ以外は、全般的に苦手です。

◆英語

「話すこと」は得意です。「必要な情報を読み取る」「読んだことへの考えや理由を書くこと」が苦手です。

国立教育政策研究所のホームページには、問題・正当例・解説が掲載されています。家庭学習や長期休業中に苦手なところの克服に向けて再チャレンジしてみましょう！



■質問紙調査より

○奈井江小学校

【家庭での生活・学習習慣調査】

■全道平均より高い

- ・「1日に30分以上読書をしている」
- ・「新聞を読んでいる」

■全道平均より低い

- ・「毎日、朝食を食べる」
- ・「同じ時刻に起きている」
- ・「分かった点、分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」
- ・「授業で学んだことを、他の学習で活用している」

■全道平均より大きく下回る

- ・「友だちとの対話を通じて自分の考えを深めたり広げている」
- ・「自分で計画を立てて勉強をしている」
- ・「普段から1時間以上勉強する」

読書の時間や新聞を読んでいる傾向が全道平均より高く、読書推進が進んでいます。

一方で、勉強時間が少ない回答も多く、計画的に勉強に取り組む姿勢が必要です。

また、朝食を食べないという回答が多く、家庭において規則正しい生活を確立することが大切です。

【生活意識の傾向】

「将来の夢や目標を持っている」が全道より高い傾向があり、目標意識が高い傾向がある一方で、夢実現へ向けて計画性を兼ね備えていく必要があります。

「自分に良い所がある」が全道より低く、自己肯定感を高める周囲の声かけも必要です。

また、「学校に行くのが楽しくない」も高く、みんなでその理由の背景を探り、解決していくこと、孤独を感じさせないことが大切です。

○奈井江中学校

【家庭での生活・学習習慣調査】

■全道平均より大きく上回る

- ・「分かった点、分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」

- ・「1日に30分以上読書をしている」

- ・「新聞を読んでいる」

■全道平均より高い

- ・「友だちとの対話を通じて自分の考えを深めたり広げている」

- ・「授業で学んだことを、他の学習で活用している」

- ・「自分で計画を立てて勉強をしている」

- ・「普段から1時間以上勉強する」

■全道平均より低い

- ・「毎日、朝食を食べる」

- ・「同じ時刻に起きている」

小学校と共に読書の時間や新聞を読んでいる傾向が全道平均より高く、読書推進が進んでいます。

また、学習習慣・学習意欲も高いので、自分にあった勉強方法を見つけることで学力向上につながると考えられます。

一方で、朝食を食べないという回答が多く、家庭において規則正しい生活を確立することが大切です。

【生活意識の傾向】

生活意識に関して全体的に高い傾向があります。

特に「自分には良い所がある」「将来の夢や目標を持っている」が全道より大きく上回っており、自己肯定感や目標意識が高い傾向にあります。

また、「人が困っているときは進んで助ける」「学校に行くのは楽しい」も高く、規範意識や自己有用感があり、学校生活が充実していることがうかがえます。

家庭学習の目標時間 ○小学校 学年×10分+α ○中学校 (学年×10分)+60分

【ICT機器の活用について】

小中ともに活用状況が全道を大きく上回っています。

特に中学生は、「勉強のために1時間以上ICT機器を活用している」が全道に比べて大きく上回っており、学校や家庭における、学習へのICT機器の活用が推進されてきています。

一方で、機器使用のルール作りや、より効果的な活用について今一度検討する必要があります。

●ご家庭への切なるお願い

子どもたちの生活基盤は『家庭』です。子どもたちにとって、自分の育った“家庭が社会の縮図”になります。「学校」も「その他の活動」も、家庭があつての居場所です。まず、子どもたちの核となる『家庭づくり』を第一に考えてください。

◆教育の主角は、「子ども」と「保護者」！

教育は「子どもファースト」であるべきです。

そして、保護者は子どもを守り支える唯一の存在です。学校・行政・地域は、「地域の宝」である子どもたちを、共に守り育てていくパートナーではありますが、家庭でしかできないことがたくさんあります。今一度、家庭での教育について、考えていただきたいと思います。

◆正しい生活習慣を！

子どもの健やかな成長には、規則正しい生活習慣が基本です。子どもたちが夢や目標を持ち、自立していくためにも、「早寝早起き朝ごはん」「ゲームやインターネットのルールを決める」など、1日の時間を大切にすることを意識を育むことが大切です。



◆失敗は必要なことです！

みなさん、“子どもが失敗しないように、傷つかないように”と先回りをし、障害物を取り除いていませんか？

今は小さい子どもたちも、いつか大人になり、巣立たなければなりません。その時に、失敗した時の立ち直り方を知らなかったら・・・。

小・中・高校生時代、保護者が傍にいてあげられる時に、失敗を見守り、自分の力で解決することができる自信をつけさせてあげることが、とても大切なことです。

子どもが自分で立ち上がった時、もしくは、立ち上がれなかった時、結果ではなくその過程を認めてあげることで、子どもは大きく成長していきます。

●行政の取り組み

◆公設塾「ななかま」の開設

子どもたちの学習習慣・基礎学力の定着に向けたサポートや学びの楽しさを知ってもらうための体験活動等を行う場として令和3年5月から小学3～6年生を対象に公設塾「ななかま」を開設しました。

開設から3年目に入り、町にゆかりのある方を講師に招く「まちのせんせい」や自分の興味のあることをノートにまとめる「ななかまノート」に取り組んできました。

また今年度からは、算数の勉強の一環として、自分で自分だけの設計図を描き、木材を切り、組み立てる「鳥の巣箱づくり」を行うなど、学校の勉強ではできない取り組みを実施するとともに、文章題が苦手な子どもたちのために、つまづきやすい問題をピックアップし15分間集中して取り組む「ちょこっと授業」。そして、昨年度から引き続き「算数検定・日本語検定」への受検サポートなど、学習面のサポートも強化しています。

ななかまでは、こどもたちに「与える」のではなく、子どもたちが自ら「発見」し、「可能性を広げる」手助けを行っています。



「ななかま」
ホームページ



@NAIE.KYOUIKU.JUKU

「ななかま」
Instagram



「ななかま」の様子

◆夏冬休み中の「朝カツ！」

ななかま開設を契機に、奈小全校児童生徒を対象に、学習サポートに加え、通常の放課後学習時間ではできない知的好奇心をくすぐる特別活動を行っています。

朝カツで過ごす時間が、単なる暇つぶしの時間ではなく、目的をもった有意義な時間になるよう、教育委員会職員とななかま講師で時間割を作成しています。

現在、冬休み「朝カツ」の参加申込受付中です！今年の冬も、“心も体も健やかに”いろいろな体験をしましょう！

◆AI教材「Qubena（キュビナ）」本格導入！

昨年度、小中学校で子どもたち一人ひとりの学習進度に合わせた「個別最適な学び」「主体的・自律的な学び」を促すタブレット版教材として、AI教材「Qubena（キュビナ）5教科」の実証導入を行い、今年度、本格導入を行いました。

1人1台端末を活用して、AIが個人の習熟度を判断し、過去の学年の苦手分野まで遡って復習したり、逆に、得意な教科は、学年関係なく先に進むことも可能です。繰り返し使うことで、自分オリジナルの教材に仕上がりに、より効率的な学びが可能になります。公設塾「ななかま」でも、本教材を活用した学習を実施していますし、自宅での家庭学習にも、どんどん活用いただければと思います！

◆長期休業前の「親学セミナー（兼朝カツ説明会）」

「ご家庭へのお願い」でも触れましたが、“子どもたちの生活の基本は家庭”です。そこで、長期休業前に朝カツ説明会を兼ねた家庭向けのセミナーを年2回開催しています。

家庭が抱える悩みなど、解決できることは少ないかもしれませんが、アドバイスや情報提供、保護者間の交流の場として定期的に開催しますので、ぜひご参加ください。

今年の冬休み前は『イライラ＆ガミガミを手放して子育てを楽しむための「アンガーマネジメント」』をテーマに12月20日（水）開催します。

案内チラシは、学校をとおして配布しています。



子育てはもっと
楽しくなる

オンライン
親学セミナー 2023.冬

イライラ＆ガミガミを手放して
子育てを楽しむための「アンガーマネジメント」

講師紹介
12.20 18:00-19:30
公民館 TEL:65-5381
ほんの えみこ

※セミナー終了後、冬休み朝カツ説明会を10分程度行います。

◆これからも・・・

行政にできることはごく一部ですが、これからも「教育の主役である子どもたち」を思い、「家庭」と協創し合いながら、子どもたちをサポートしていきます。

○問い合わせ
教育委員会教育支援係(公民館内)
☎ 65 - 5381

●地域全体で考える！

◆「奈井江町学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」発足！

昨年度、町民30名、こども会議委員15名から構成する「コミュニティ・スクール検討委員会」を設置し、半年間に亘り意見をいただき、今年度、学校や地域、関係団体代表といった委員15名により「奈井江町学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を発足しました。

「コミュニティ・スクール」は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」・「学校を核とした地域づくり」を目指し、校長が定める学校運営に保護者や地域の声を積極的に反映しながら奈井江町に必要な特色ある学校づくりを進めていきます。

「コミュニティ・スクール」の活動は、「コミュニティ・スクールだより」でもお知らせしています。ぜひご覧ください！



←コミュニティ・
スクールだより
掲載 HP

○「コミュニティ・スクール」問い合わせ
教育委員会文化振興係(公民館内) ☎ 65 - 5311